

宮城県福祉サービス第三評価結果

1 第三者評価機関名

株式会社福祉工房

2 施設・事業所情報

名称：石巻市かもめ学園	種別：児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業	
代表者氏名：齋藤 裕子	定員（利用人数）：多機能型申請の為両事業併せて 10名	
所在地：宮城県石巻市向陽町3丁目10-7		
TEL：0225-95-9566	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 昭和48年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：設置主体 石巻市 （石巻祥心会）		
職員数	常勤職員： 6名	非常勤職員 4名
専門職員	（専門職の名称）保育士 4名	幼稚園教諭 1名
		看護師 1名
		児童指導員 2名
施設・設備の概要	（居室数） 5室	（設備等） ホール 保育室 トイレ 厨房 更衣室

3 理念・基本方針

<p>石巻市かもめ学園は、次の4つを基本方針とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 心身障害児に対して、必要な機能訓練及び生活指導を行い、児童の療育に資するとともに、児童の健全な育成、保護者の就労支援に資するよう努めます。 2) 事業の実施に当たっては、利用者（市民）の意思及び人格を尊重し、常に利用者（市民）の立場に立ったサービス提供に努めます。 3) 事業の実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、市町村及び各関係団体（保健・医療・教育・福祉）との連携に努めます。 4) 次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備に努めます。 <p>独自の方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、家族支援 2、発達支援 3、地域の中で育っていく。

4 施設・事業所の特徴的な取組

・児童発達支援事業

登園開始時は、親子登園を行い、我が子への関わりを学んでいくことや、市立の保育所・幼稚園との交流を持ち、地域で育っていけるように努めています。

児の発達に合わせて、個別・集団療育の実施や、親と子を褒めて伸ばすほめポイントを毎週職員間で確認を行っています。

母親の勉強会にも力を入れ、母親を対象に先輩母からや、専門家からの講話をいただき子育ての孤立感や母親間の交流にも努めています。

・放課後等デイサービス事業

小学1～6年生を対象にしています。将来に向けて、社会性や、自立性を伸ばしていけるように努めています。

療育については、活動前半は身体を動かすことを中心に行い、後半は、学校の宿題や、個別に文字練習や生活スキルが身につくような療育の実施を行っています。

・日中一時支援事業

土日曜日の受け入れを行い、保護者の就労支援にもつなげています。

・児童相談支援事業

主に計画相談の作成にはなりますが、計画に繋がらない子育ての相談も多いので、担当が話を聞くことが多いです。

5 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年4月25日（契約日）～平成30年10月31日 （評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成 年度）

6 総評

◇特に評価の高い点

・地域との連携と地域の福祉向上の取組み

地域との連携積極的に図る取組みが行なわれており、隣接する児童クラブの子どもたちと利用者とのふれあい、小学校や子育てサークルへの出前講座、一般市民向け発達障害に関する啓発活動、障害を持つ家庭への支援活動等、事業所内の利用者支援に留まらず、地域における障害児支援センター的な活動が行なわれている。

・標準的な支援の確立

事業所において実施されている、各事業において夫々の特性に合った対応が明記され、支援の内容や、目標が明確となっている。

・利用者の自立への取組み

利用者の意思と希望を尊重しつつ、自分で出来ることは自分で行なう事、社会参加のための買い物、一般の子どもたちとの交流等、利用者が自立できるための取組みが積極的に行なわれている。

◇改善を求められる点

・生活環境への課題

設備が老朽化しており、トイレや職員の休憩室など、プライバシー確保や寛げるための、生活環境に関していくつかの課題が見受けられる。環境整備に関しての早急な対応が望まれる。

・より積極的なボランティアの受け入れ

現在、定期的に一部のボランティアが来訪し、支援が行なわれているが、地域との連携を更に深めるためにも、より積極的にボランティアの受け入れを行なって行くことが望まれる。

7 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

高く評価された点では、地域との連携の取り組みを今後も継続し、地域においては、今後、児童発達支援センターを目指して活動していきたいと思います。

事業の面でも、児童の今後の成長を促せるように、職員の意識向上に努め質の高い支援に取り組んでいきたいと思います。

改善する点では、設備面で、大分老朽化を進んでいる状況です。幾つか改善が求められているので指定管理の石巻市の担当課と協議を進めていきたいと思います。

ボランティアの受け入れの件も、定期的な受け入れしか行っていないので、多くの方々を受け入れより一層の地域連携を図っていきたいと思います。

今回の、評価を受け職員全体で受け止め改善出来るところから進めていきたいと思います。

8 各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり（施設の区分に応じ福祉サービス第三者評価結果票を添付する。）（様式2－第三者評価機関公表用）

(別紙)

福祉サービス第三者評価結果票（障害者・児版）

※ すべての評価細目（71項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※ 評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
＜コメント＞ 石巻市の施設として、運営を法人が委託されており、法人の理念及び石巻市の基本方針をもとに、事業所の独自の方針を策定し支援にあたっている。基本方針等は事業計画書、事業報告書に記載され、職員には年度の初めに、配布し説明が行なわれている。保護者には期末に翌期の活動方針とともに説明されている。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
＜コメント＞ 法人の職員が石巻市の福祉計画の委員になっており、法人の管理者会議で市の福祉環境に関する情報を、及び法人の相談事業所からも地域における福祉環境に関する情報を得ている。得られた情報は、毎月行なわれる職員会議で全職員に対し報告が行われ、情報の共有が図られている。		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・Ⓑ・c
＜コメント＞ 事業所運営上、利用者の利用率が課題となっており、職員会議での改善のための話し合いが行なわれている。更に、具体的なデータの管理等を行い、具体的対策を話し合っていくことが望まれる。		

Ⅰ-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a (b)・c
<コメント> 法人としての中・長期計画が策定され、事業所として児童発達支援センター化、指定管理事業者の更新及び、支援の充実等がうたわれている。事業所としての中・長期的な課題に対しての具体的な活動計画を策定し、職員等との共有をして行くことが望まれる。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a (b)・c
<コメント> 中・長期計画が具体的な活動計画とはなっていないため、年度の事業計画との整合性が不明確となっている。中・長期計画の見直しを行い、それに沿った年度の計画を設定していくことが望まれる。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a (b)・c
<コメント> 事業計画は法人の日程に沿って策定されており、管理者及び各事業の主担当が中心となり策定されている。前年度における反省を意識しながらの策定となっているが、具体的な報告書の作成は翌年度が始まってからの作成となっている。前年度の実績を踏まえ、計画を策定していくことが望まれる。又、事業計画はより具体的な目標を設定していくことも望まれる。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a (b)・c
<コメント> 事業計画は年一回、期初に家族に対して説明が行なわれ、又、事業所内に掲載され閲覧可能となっている。保護者に対する説明には、前年の取組みの結果を含め、説明していくことが望まれる。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a (b)・c
<コメント> 半期に一度の、事業評価に伴う自己評価シートに基づき、各職員は支援に関する自己評価を行い、管理者との面談において、今後の取り組みに関する話し合いが行なわれている。人事考課時における評価とは別に、日常における支援の確認をするため、他の事業所でも取り組んでいる、振り返りシート等の活用をして行くことが望まれる。		

9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <p>組織的な仕組みは現在具体的には行なわれていない。職員の評価をもとに、事業所としての支援に関しての課題を明確にし、具体的な改善のための取組みを行なっていく仕組みを作っていくことが望まれる。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a) b・c
<p><コメント></p> <p>年度の事業計画書に職務分掌が記載され、又、事業所における各職員の役割等詳細を記載した文書が作成され、管理者及び各職員の責任と役割が明確化されている。管理者は毎年、事業計画書に年度の運営方針を表明し、職員、保護者に説明を行い、周知を図っている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b)・c
<p><コメント></p> <p>法人においてコンプライアンスに関する研修が行われ、管理者が出席し、事業所において各職員に対しての伝達研修が行なわれている。関連する法令等を明確にし、具体的に理解を促していく取組みも期待される。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <p>人事考課時における、職員の自己評価をもとに、現状の事業所における支援の質を確認し、又、日常の職員会議等を通じて支援の質の改善を図っている。日常における支援の質を確認するために具体的な例を掲げ討議して行くなどの仕組みを構築し、職員とともに改善していく取組みが望まれる。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b)・c
<p><コメント></p> <p>業務上の課題については、職員会議で提議し解決策が話し合われている。課題や解決のための取組み、スケジュール等を整理し文書化し進捗が明確となる取組みが望まれる。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 年度における人員計画は策定され、必要に応じて法人と調整が行なわれている。現状は必要な人材に関しては充足しており、運営開始時より職員は継続し定着している。		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 法人の中・長期計画に人員に対する基本的考え、求められる人員像が述べられており、半期に1度D o - C A P方式による人事考課が行なわれている。又、これに合わせ管理者と職員との個別面談が行なわれ、結果のフィードバックも行なわれている。自己評価の際には職員の詳細も記載され、管理者によるアドバイスも行なわれている。更に、目標は単年度だけでなく数年先を見据えた目標等も話し合われることが、定着を確保するためにも期待される。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・Ⓑ・c
<コメント> 職員の残業や有休に関しての就業状況に関しては、職員数も少ないことから、管理者により把握されている。職員のストレスに関しても法人に衛生委員会が設置され、必要に応じて産業医との面談が行なえる仕組みとなっている。福利厚生に関してもIワークサポート（石巻地区勤労者福祉サービスセンター）に加入し各種施設の割引利用等が受けられるようになっている。更に、職員はシフト勤務により、有休の取得がやや進んでいない面も見られ、より取得を促す取組みが望まれる。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 法人の中・長期計画、倫理規定に求められる職員像などが明記され、人事考課時に年2回管理者による個別面談が行なわれ、職員の目標に対してのアドバイスが行なわれている。又、職員の目標に対する進捗状況が明確となるよう、継続した記録をとっている。		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 法人の方針に従い、事業所としても人材育成に対する基本的考え方を事業計画に明記し、年間における研修計画が立てられている。		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 職員個々のスキルや知識については管理者により把握されており、必要に応じた研修が指導されている。研修は法人による階層別研修や外部研修が行われ、全職員の参加が行なわれている。年度ごとに受講した内容と職員名が報告書に記載されているが、更に、研修記録として職員別の受講記録等の作成が望まれる。		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>平成29年度は9名の実習生の受け入れが行なわれ、受入れマニュアルも作成されている。チーフ支援員等2名が指導員となって指導にあっている。指導者に対する研修を行っていく事や実習に対する基本姿勢や目的などを、事業計画書等に記載していくことが望まれる。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>法人全体の情報についてはホームページにおいて公開され、又、石巻市のホームページにも概要が記載されている。法人全体の取組みとして広報誌が作成され、定期的な後援会を中心に配布されている。地域への事業所の情報公開に関しては必ずしも十分な取組みとはいえない面が伺える。苦情対応に関してはマニュアルが作成され、事業計画書にも対応に関する事項が明記され、事業所内に掲載されている。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>事業所の運営に関しては、法人の規定および市の規定に従って行なわれており、法人からは毎年監査が行われ、市からも定期的な事業監査が行なわれている。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>事業方針に地域との連携、結びつきがうたわれており、事業所の利用者と地域との交流が積極的に取り組まれている。「子どもまちづくり支援事業」として地域交流活動、多世代交流活動等による地域の方々とのふれあい活動を通して、利用者が「地域の子ども」として認知を高める取組みが行なわれている。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ b ・c

<p><コメント></p> <p>毎年ボランティアグループ「n a d i a」がクリスマスに来訪し、子ども達と一緒に楽しむ取組みや、園庭での遊具の制作等が行なわれている。ボランティア受入れに関してはやや消極的であり、地域との交流をより深めるためにも、ボランティア受入れに関する基本的姿勢を明確にし、積極的な学校や地域のグループ等への働きかけを行なうことや、合わせてマニュアルの作成をおこなうことも望まれる。</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>石巻市の施設であることもあり、市の障害福祉課、健康推進課をはじめ相談事業所、児童相談所、保健所などとの連携が日常及び随時取られている。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	<p>Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>地域との連携を基本方針の一つとして掲げており、放課後デイサービスにおいては、隣接する児童クラブの子どもと利用者とのふれあい、小学校や子育てサークルへの出前講座、地域の一般市民に対する発達障害に関する啓発活動、地域の障害を持つ家庭に対しての支援活動等、事業所の機能を活かした地域支援が行なわれている。</p> <p>事業計画書に基本方針の一つとして、地域との結びつきを重視し連携していくことが明記され、事業所として「子どもまちづくり支援事業」「地域みんなで子育て推進事業」「市民協働アクションプログラム事業」などが行なわれている。</p>		
27	<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>石巻市からの委託事業として、18歳までを対象とした相談事業を行っており、これを通じた情報等をもとに、現在、地域における障害児に関しての種々の支援事業を展開している。更に、総合的な支援体制を整えるために、現在「児童発達支援センター」化を目指した取組みを行なっている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
<p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>	

28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>児童発達支援事業所として石巻市かもめ学園は指定管理事業所で児童発達支援事業、放課後等児童デイサービス、放課後児童クラブ、石巻地域総合生活支援センター等の事業を行っている。組織の基本姿勢は基本方針に明記されているが利用者の尊重について、職員の認識が充分と言えない面が自己評価からは伺える。組織内の共通理解の為の取組として、倫理綱領、人権への配慮に関する組織内の勉強会、研修等を更に積極的に行なっていくことが望まれる。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-②利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>利用者のプライバシー保護に配慮したサービス提供の規程、マニュアルは整備されていない。標準的実施方法、支援計画書等に明記し職員に周知することが望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>HP、パンフレット等が作成されている。石巻祥心会の後援会、事業所だより等にも写真入りで行事等が紹介されている、今年度は地域の保育所や幼稚園との交流を行なっている。保健士から紹介の見学希望者には随時対応している、実施する福祉サービスの内容等について積極的に情報を提供している。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>組織が定めた様式に基づいて説明を行い重要事項説明書、利用契約に同意を得ている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>福祉サービスの継続性に配慮した手順と引き継ぎ文書は作成されている。公立の保育所や支援学校等と連携している。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者満足に関しては、年2回の通所支援計画（児童発達支援計画）の策定時に、日常的な支援に関しての満足度を把握する取組が行なわれている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ b ・c

<p><コメント></p> <p>苦情解決の体制等は整備されている。苦情解決の仕組みを解かりやすく掲示されていて、重要事項説明書、契約書にも明記している。更に、利用者、家族が苦情を申し出がしやすい環境等の工夫が望まれる。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>利用者が相談や意見を述べやすい環境の整備や、相談相手を自由に選べる等解かりやすく説明した文書が作成されていない等、不十分な面がある。保護者からの相談は主に日常の職員とのコミュニケーションにおいて行なわれている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>対応マニュアルは作成されていない。職員は日々の支援の実施において利用者が相談しやすく、意見を述べやすいように配慮し適切な相談、対応と意見の傾聴に努めている。更に、意見箱の設置、アンケート実施等の積極的な取組が望まれる。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>リスクマネジメント体制は構築されている。車での送迎、施設内の事故等の事故発生時の対応と安全確保について責任やマニュアル等を明確にして職員に周知している。危機管理委員会が設置されていて、ヒアリハット等も会議の場で共通理解されている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>衛生委員会が設置されていて感染症予防マニュアルが作成されていて職員に周知されている(月1回の会議)。職員の衛生管理、健康に関する感染症の予防対策の検討が行われている。日常的には手洗いを中心に感染症の予防を行っている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>防災委員会が設置されている。防災マニュアルが遊戯室に掲示されている。災難訓練は2か月に1回実施、消防署参加の訓練は年1回実施されている。3日間の備蓄が確保されている。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a ・b・c

<p><コメント></p> <p>標準的な支援方法として①児童発達支援事業②放課後デイサービス事業③日中一時支援事業等の各事業のタイムスケジュールが作成され、職員の活動と支援が策定されて日常生活の支援、サービスが明確で活動支援内容や目標が掲げられている。</p>		
41	<p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>月1回のケース会議に於いて評価、年2回の支援計画のモニタリング（中間と年度末）を担当職員と評価している。PDCA方式で見直しが行われている。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>支援計画書は担当職員が作成、モニタリングを行い管理者が責任者として設置されている。アセスメントは学園のアセスメント様式で実施されている、支援計画は日常的な福祉サービス提供場面でどのように実施されているかが記録されている。支援計画どおり福祉サービスが実施されているかを確認する仕組みとしてケア会議が構築されている。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>サービスを利用して3か月後に支援計画の見直しを行っている。通常は月1回のモニタリングを実施している。変更には保護者の意向の確認と同意を得るために面談を行っている。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>月1回の職員会議で職員間の情報の共有化を図るため、記録は毎日担当職員が差異がないように統一した様式によって手書きで記録している。又、学童の情報はPCを利用し共有化が図られている。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>記録の管理体制は法人の規定にもとづいて保管、保存、破棄、情報の提供等が実施されている。事業所の記録管理は管理者が責任者となっている。更に、個人情報保護の観点からの研修等も望まれる。保護者には重要事項説明書に於いて個人情報同意書を得ている。</p>		

障害者・児福祉サービス版内容評価基準

評価対象 A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
46	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 利用者（子ども）の意思と希望や個性の尊重についてはおもちゃ遊びや嗜好品等の選択を働きかけている。支援計画書は利用者のニーズ、障害の状況等を踏まえている。		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
47	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 虐待防止等の規定、マニュアルが整備され研修が実施されている。家庭での虐待に対しては支援学校等と連携することを明示している。		

評価対象 A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
48	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 利用者の自立に配慮した支援計画書は自分で出来る事は自分で行う、又、自立を身につける動機付けになるように支援している。		
49	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーションの方法に配慮している。障害によって配慮して利用者にあったコミュニケーションを実施している。利用者は言われている事はほとんど理解されていると思われる事が多く、対応に配慮したコミュニケーション方法を行っている。		
50	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・b・c
<コメント> 対象外		
51	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	Ⓐ・b・c

<p><コメント></p> <p>支援内容、プログラムやレクリエーション等の実施に関しては日課表、週間、月間、年間のスケジュールが策定されている。理学療法士が機能訓練、生活訓練に参加している。</p>		
52	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者の障害に応じた支援として、病院には同行はしていないが、リハビリ通院には発達状況や医師からの情報を得るため同行している</p>		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
53	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>排泄支援に関しては、オムツは定時交換しトレーニングパンツに移行して行く等、その子に応じた支援を実施している。移動にはハイハイの練習や乗り物のおもちゃ等は自分で乗り、降りられるようにという具体的な支援が行なわれている。</p>		
A-2-(3) 生活環境		
54	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・b・Ⓒ
<p><コメント></p> <p>トイレが大人も子どもも同じ場所でドア1枚でプライバシーが守られていない。職員の休憩室がなく事務所で食事、休憩をしている等、環境設備としていくつかの課題が見受けられるため、改善のための取組みが望まれる。</p>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
55	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>法人の作業療法士が在職しており、職員と連携して可能な範囲での支援を行いサービス向上に努めている。</p>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
56	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>健康面、医療的支援はかもめ学園運営規程12条に基づき行なわれ、職員は常に利用時の健康に留意し、日常における健康保持のための適切な措置をとり、必要に応じてその記録を保存している。医療機関への受診は突発的、緊急の疾病については家族へ連絡して対応して頂くことを基本としている。家族等の対応で困難な場合は職員が対応している。学園では毎</p>		

<p>月、身長、体重を測定し保護者に報告している。年1回歯科健診で口腔ケアを行っている。更に、障がい児の健康管理等について職員研修や職員の個別指導等が定期的に行われることが望まれる。</p>		
57	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
<p><コメント> 対象外</p>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
58	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント> 利用者（学童）の社会参加のために放課後買い物等が実施されている。</p>		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
59	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント> 地域生活への移行や地域生活にあたっての福祉サービスの継続性に配慮して、地域の公立の保育園や幼稚園とのより積極的な連携が望まれる。</p>		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
60	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント> 保護者（家族等）との交流は学童は送迎時に立話程度で行なわれ、定期的な交流等が行われていない。行事等への参加時にも行なわれているが、より積極的な連携が望まれる。</p>		

評価対象 A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
61	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント> 利用者一人ひとりへの発達状況に応じた具体的な個別支援がおこなわれている。日常の活動プログラムは各チームで検討、見直しを行なっている。支援内容の共有化のために学校や保育所との具体的な情報共有、連携、調整も行われている。</p>		

評価対象 A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
62	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 対象外		
63	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
<コメント> 対象外		
64	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
<コメント> 対象外		